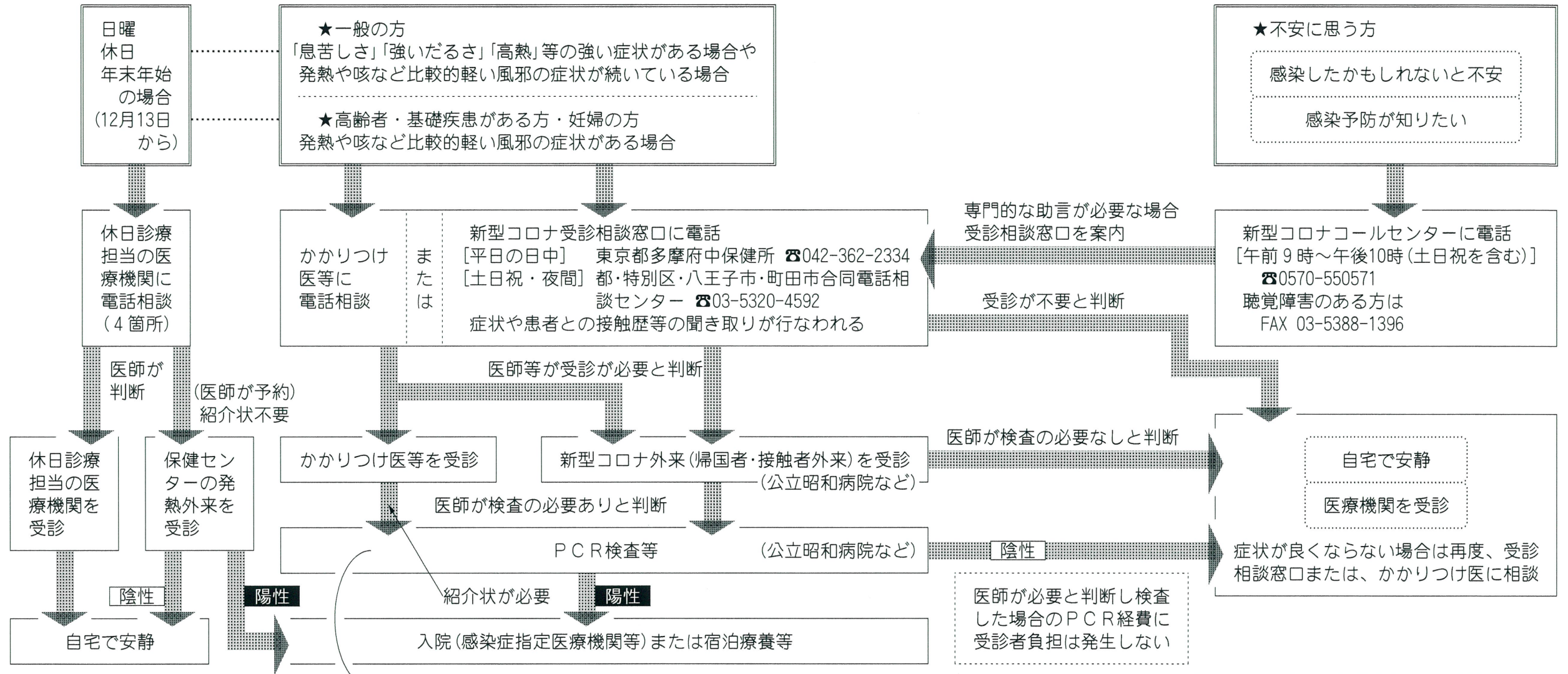


新型コロナウイルス感染症とPCR検査体制の現状・課題

2020年11月22日(日)
日本共産党・板倉真也

新型コロナウイルス感染症が心配なときは…

(参考:「市報」11月1日号など)



かかりつけ医が小金井市医師会加入の場合は、4市共同PCR検査センターも対象に含まれる。医療機関が自らPCR検査を行なうところもある。

—— 小金井市・国分寺市・国立市・府中市の
各医師会で運営(紹介状必要/5月25日開設)

—— 市内に10箇所程度あるらしい(非公表)

PCR検査体制の課題

■行政検査費用の半額が自治体負担(東京は都が負担)。社会的検査は東京都の一部補助のみ(対象を増やすほど自治体負担が増加)

求められる感染リスクの
高い職場等への定期的な
PCR検査
人数は、2018年度の
小金井市内の該当者

医療従事者	1,061人
学校教職員	503人
保育園・幼稚園職員	2,000人
障害者施設関係職員	703人
介護事業所関係職員	2,176人
合計	6,443人

自由診療(保険対象外)の場合、6,443人×3万円/回=1億9,329万円

自治体が社会的検査を行なう場合、東京都が職員と利用者の検査
費用を負担する(2万円 ※抗原検査は7,500円/一人1回のみ)。
通所・入所の介護や障害者支援施設など(訪問介護事業所は除外)。

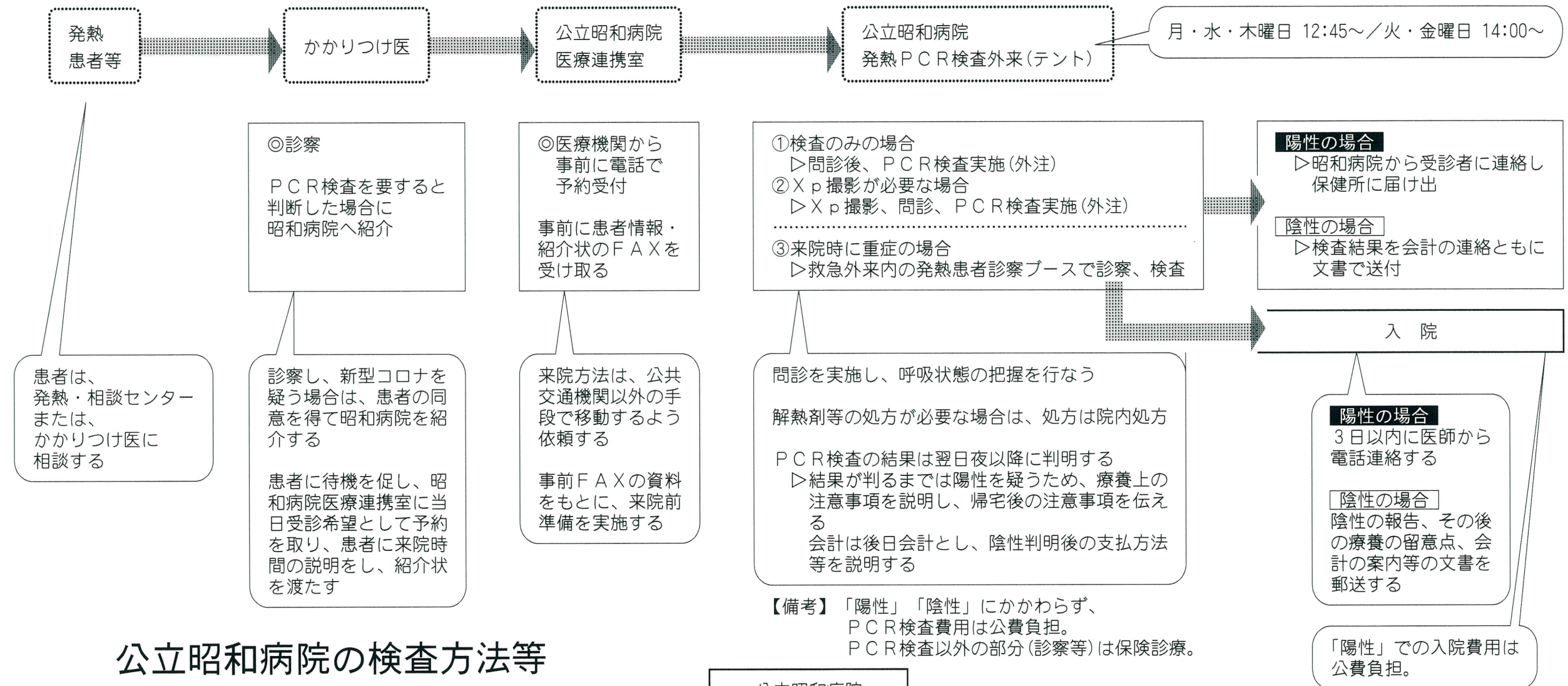
PCR検査の費用負担概要

- ★受診後のPCR検査(保険診療扱い)で感
染確認 ▶保険診療内で自己負担あ
り(東京は東京都で負担)
- ★濃厚接触者のPCR検査(保健所が対応)
(行政検査) ▶国1/2 地方自治体1/2(東
京は東京都で負担)
- ★社会的検査(自治体や民間、個人が実施)
▶補助なし(東京都は自治体
実施に一部補助)

【解説】「行政検査」=濃厚接触者へのPCR検査 「社会的検査」=行政検査の対象(濃厚接触者)から外れる範囲へのPCR検査、抗原検査

公立昭和病院(小平市)の発熱テント外来受診等のフローチャート

(昭和病院企業団議会資料から)



公立昭和病院の検査方法等

検査方法	鼻咽頭ぬぐい液	唾液	判定までの時間	感度	検査	公立昭和病院での検査対象
PCR法	○	○	最短3時間	◎	外注	入院手術予定患者等
Film Array法	○		45分	○ ⁺	院内	発熱のある救急患者
TRC ready法	○		40分	○ ⁺	院内	発熱のない救急患者
LAMP法	○		35分	○	院内	(記載なし)
抗原検査法(簡易キット)	○		45分	○	院内	(救急科、小児科)

公立昭和病院		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
区分											
帰国者・接触者外来、発熱外来等の患者数		11	39	205	233	210	528	576	366	408	2,576人
PCR検査等実施件数		10	23	203	224	197	449	491	299	335	2,231件
新型コロナ 陽性		1	3	15	3	6	38	28	15	24	133人
新型コロナ 陰性		9	20	188	221	191	411	463	284	311	2,098人
陽性率		10.0%	13.0%	7.4%	1.3%	3.0%	8.5%	5.7%	5.0%	7.2%	6.0%